

LOVE 青ろう

令和2年5月8日 第1号

こんにちは、4月に青森聾学校に赴任いたしました中谷えり子と申します。よろしくお願いいたします。(挨拶が5月になってしまい、誠に申し訳ありません。)

青森聾学校に着任するのは3回目です。八戸聾学校で採用になり、その後、本校に赴任したのが1回目、2回目は、創立90周年の年です。そして、創立95年を迎える今年、3回目の青森聾学校勤務となりました。本当に嬉しく思っております。



さて、本校の歴史は、大正14年10月15日に盲人西蓮寺幸三郎氏が青森市大字長島に青森盲人教育所を開設したことから始まり、昭和6年には私立盲啞学校となりました。昭和12年4月1日には県立に移管され、青森県立青森盲啞学校となり、同年6月17日には、ヘレンケラー女史が来校されています。



幼稚部2名

歴史と伝統のある本校に、今年度は幼稚部に2名、小学部に1名、高等部に6名の新入生を迎え、幼稚部4名、小学部4名、中学部2名、高等部10名の全20名でスタートしました。幼児児童生徒の皆さんがそれぞれの夢に向かって元気に歩いていけるよう、日々の授業を大切にしたい取組、専門性を発揮した「授業の充実」目指し、教職員一同、協力して進めて参ります。また、地域、保護者の皆様との対話を大切にし、お子様の成長を共に支えていきたいと考えております。どうぞ本校の教育活動に温かい御支援と御協力をいただきますようよろしくお願いいたします。



小学部1名



高等部6名

5月7日から学校再開

4月20日から5月6日まで、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、県立学校は一斉臨時休業の措置をとっていましたが、5月7日から教育活動再開となりました。本校においても感染症対策を講じた上での再開となっています。再開した7日には、全校朝会を実施し、改めて一人ひとりができる基本的感染対策①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い等、「新しい生活様式」(5月4日専門家会議からの提言)について全校で確認しました。自分・家族・大切な人の健康、命を守るため、私たち一人ひとりができることを学校でも家でも頑張っていきたいとみんなで確認しました。